



ユーザ デバイス プロファイルの削除

ここでは、ユーザ デバイス プロファイル (UDP) のグループを Cisco Unified CallManager データベースから削除する手順を説明します。

次の 2 つの方法を使用して既存の電話機レコードを検索することができます。

- [クエリーを使用した UDP の削除 \(P.38-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した UDP の削除 \(P.38-3\)](#)

クエリーを使用した UDP の削除

削除するレコードを探すには、クエリー フィルタを定義する必要があります。Cisco Unified CallManager から UDP を削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [Bulk Administration] > [ユーザデバイスプロファイル] > [UDP の削除] > [クエリー] の順に選択します。

[ユーザデバイスプロファイルの削除 (Delete User Device Profiles Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [検索対象] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [ユーザ (User)]
- [自動生成 (Autogenerated)]
- [すべて (All)]

ステップ 3 最初の [デバイスプロファイル、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [プロフィール名 (Profile Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスタイプ (Device Type)]

■ クエリーを使用した UDP の削除

ステップ 4 2 番目の [デバイスプロファイル、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 5 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべての UDP を検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

ステップ 6 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **[AND]** または **[OR]** を選択して、**ステップ 2** ~ **5** を繰り返します。

ステップ 7 **[検索]** をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [デバイスプロファイル名 (Device Profile Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスタイプ (Device Type)]
- [プロファイルタイプ (Profile Type)]

ステップ 8 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 9 [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックして UDP レコードを即座に削除するか、[後で実行] をクリックして後で削除します。

ステップ 10 **[送信]** をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 11 Bulk Administration メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 52 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.57-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

**注意**

クエリー テキスト ボックスに情報を何も入力しないと、すべての UDP レコードが削除されます。削除は最終的な操作なので、削除したレコードは復元できません。

その他の項目

詳細については、[P.38-4 の「関連項目」](#)を参照してください。

カスタム ファイルを使用した UDP の削除

テキスト エディタを使用して、削除する UDP のカスタム ファイルを作成することができます。同一のカスタム ファイルの中に、デバイス プロファイル名、デバイス プロファイルの説明、電話番号を含めることができますが、複数の電話番号を同じファイルに入れることはできません。複数のファイルを作成する必要があります。1 つのファイルには、デバイス名と MAC アドレスを含め、もう 1 つのファイルには電話番号を含めます。



(注)

回線を共有している UDP は、カスタム ファイルを使用して削除することはできません。

始める前に

1. 削除する UDP について次の詳細のいずれかを記載するテキスト ファイルを作成します。
 - プロファイル名
 - プロファイルの説明
 - 電話番号
2. テキスト ファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
3. カスタム ファイルを Cisco Unified CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、[P.2-4 の「ファイルのアップロード」](#)を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている UDP を削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [Bulk Administration] > [ユーザデバイスプロファイル] > [UDP の削除] > [カスタムファイル] の順に選択します。

[ユーザデバイスプロファイルの削除 (カスタム) (Delete User Device Profiles Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [削除対象] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [ユーザ]
- [自動生成]
- [すべて]

ステップ 3 [デバイスプロファイル、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、作成したカスタム ファイルのタイプを次のいずれかの条件から選択します。

- [プロファイル名 (Profile Name)]
- [プロファイルの説明 (Profile Description)]
- [電話番号 (Directory Number)]

ステップ 4 カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。

ステップ 5 [検索] をクリックします。

ステップ 6 検索条件に一致する UDP のリストが表示されます。

ステップ 7 [送信] をクリックして、UDP を削除するジョブを作成します。

Bulk Administration メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。ジョブの詳細については、[第 52 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.57-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.38-4 の「関連項目」](#) を参照してください。

関連項目

- [クエリーを使用した UDP の削除 \(P.38-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した UDP の削除 \(P.38-3\)](#)
- [ファイルのアップロード \(P.2-4\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.52-1\)](#)
- [Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool の概要 \(P.53-2\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.57-4\)](#)